

病理診断科



専門医資格等 日本病理学会・病理専門医
日本臨床細胞学会、細胞診専門医
死体解剖資格

病理診断科長
山本 鉄郎

□スタッフ

平成26年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
病理医師	森吉 弘毅	日本病理学会 日本臨床細胞学会 死体解剖資格		
主任臨床検査技師	木村 明	日本細胞検査士 国際細胞検査士		
臨床検査技師	鶴田 康倫	日本細胞検査士 国際細胞検査士		
臨床検査技師	大上 哲也	日本細胞検査士 国際細胞検査士		
臨床検査技師	谷畠和可苗	日本細胞検査士		
臨床検査技師	永阪麻衣子			

□科(室)の特徴

- 常勤病理医2名でダブルチェックを行い、診断精度の向上を図っています。
- 細胞検査士の資格を持つ検査技師と協力し、細胞診業務を行っています。
- コンサルテーション等で京大病院病理診断科との協力体制を築いています。
- 組織診、細胞診、術中迅速診断、病理解剖、CPCのいずれについても正確かつ迅速な診断を心がけています。
- カンファレンス等を通じて臨床医とのコミュニケーションを図ることで、より臨床の現場に即した診断が行えるよう努めています。

□診療(業務)内容

- 組織診断:生検や手術によって採取された検体に対し、良悪性の判定、炎症の有無などを調べ、診断名を確定します。また、治療効果や腫瘍のステージ、転移の有無などの判定を行い、以後の治療方針の決定に役立てています。2014年は7509件の組織診断を行いました。
- 細胞診:子宮頸部擦過、尿、喀痰、甲状腺やリンパ節の穿刺などによって得られた細胞を観察し、良悪性の判定を行います。2014年は8503件の細胞診を行いました。
- 他院標本診断:セカンドオピニオンや転院によって当院を受診された患者さんが持参された標本を改めて検討し、診断の確認を行っています。2014年は組織診126件、細胞診54件の他院標本診断を行いました。

4. 術中迅速診断：手術中に提出された検体を15-20分程度で診断し、手術範囲や術式の決定に役立てています。2014年は436件の術中迅速診断を行いました。
5. 病理解剖：亡くなられた患者さんのご遺体を解剖し、病態を詳しく調べて、生前に分からなかった事も解明しています。2014年は17件の病理解剖を行いました。
6. CPC：臨床各科と合同で病理解剖症例の検討を行い、様々な視点から病態を調べて、今後の診断や治療に役立てています。また、研修医と共に発表を行い、医学教育に寄与しています。2014年は9件のCPCを行いました。
7. カンファレンス：臨床各科と定期的にカンファレンスを実施し、臨床情報と病理所見の摺り合わせを行っています。また、手術検体の切り出しの際の外科医立ち会いや、個別症例についてのディスカッションを通じて臨床医とのコミュニケーションを図ることで、より臨床の現場に即した診断が行えるよう努めています。

□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

区分	演者・演題・学会名
国内学会	山本 鉄郎、舌根部唾液腺型腫瘍の一例、第103回 日本病理学会総会
国内学会	山本 鉄郎、皮膚の色素性病変、第67回 日本病理学会近畿支部学術集会

□ 投稿論文など

著書・雑誌名	著者・タイトル
Histopathology	Fujimoto M, Sumiyoshi S, Yoshizawa A, Sonobe M, Kobayashi M, Moriyoshi K, Kido A, Tanaka C, Koyanagi I, Date H, Haga H. "SALL4 immunohistochemistry in non-small-cell lung carcinomas"
Head Neck Pathol	Yamamoto T, Minamiguchi S, Watanabe Y, Tsuji J, Asato R, Manabe T, Haga H. "Kimura disease of the epiglottis: a case report and review of literature"
Int Immunol	Kataoka TR, Kumanogoh A, Fukuishi N, Ueshima C, Hirata M, Moriyoshi K, Tsuruyama T, Haga H. "CD72 negatively regulates mouse mast cell functions and down-regulates the expression of KIT and Fc ε RIα"
京都医学会雑誌	武井 玲生仁、井上 英樹、孫 瑜、北村 知嵩、葉山 学、金井 修、小林 岳彦、岡村 美里、森吉 弘毅、山本 鉄郎、浅本 仁、三尾 直士、剖検により肺大細胞癌と診断した原発不明癌の1例
日本消化器外科学会雑誌	村上 隆英、成田 匠大、山本 鉄郎、花田 圭太、谷 昌樹、松末 亮、畠 啓昭、山口 高史、大谷 哲之、猪飼 伊和夫、十二指腸乳頭部に発生したmixed adenoneuroendocrine carcinomaの1例